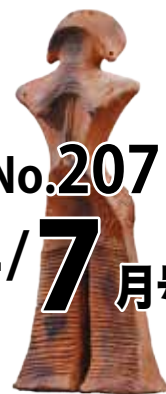


議会だより

ふなだた

No.207

8年/7月号

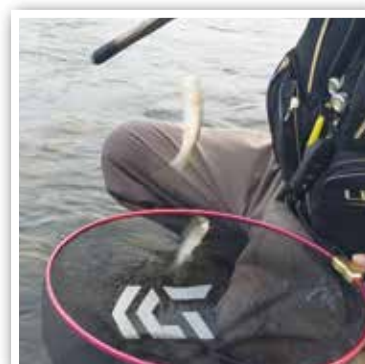


発行：山形県舟形町議会
令和8年7月24日



待望の鮎釣り解禁

第2回臨時会、第2回定例会概要	2 P
質疑応答	3 P
議案の採決状況～こんなことが決まりました～	5 P
町政を問う 一般質問に6議員	6 P
議会活動・町民の声	13 P
議会報告会	14 P
議会だよりモニターアンケートの声	16 P
えがったなあ・表紙のことば・編集後記	18 P



表紙のことばは18Pにあります。

災害に強いまちへ重機や救助艇を配備

B&G財団の助成金を活用

第2回定例会は、6月8日から10日までの3日間の日程で開催されました。一般質問は6名が登壇し、町政運営や将来展望についていただきました。（質問内容は6～12ページに掲載）

町長提出案件は、令和7年度一般会計補正予算などの専決処分6

件、報告5件、令和8年度一般会計補正予算1件、介護保険特別会計補正予算1件、条例の一部を改正する条例の制定2件、工事請負契約の締結1件の全議案16件で原案通り承認・可決しました。

防災事業

3650万円

- ・B & G財団の助成金を効果的に活用
- ・各種防災資機材の導入や、備蓄倉庫の整備、防災研修等に係る経費



スライドダンプ



油圧ショベル



近年激甚化する傾向にある災害に備え、地域の防災力を高めるための予算です。助成金を活用し、有事の際に町民の命を守るための避難環境や資機材を整備します。

空き家対策事業

1469万円

- ・制度拡充に伴う申請、相談件数の増加に対応するため空き家除却（解体）事業補助金を増額



町内の安全確保や景観維持、跡地利用を促し、ニーズに応えるため空き家解体補助の枠を拡大しました。住みよい生活環境の維持を目指します。

鳥獣被害対策事業

195万円

- ・緊急銃猟の協力者への報償費を確保
- ・相談件数の増加に伴う、やぶの刈り払いへの補助を増額
- ・クマなどの誘引源となる「不要果樹」の伐採補助を増額



やぶの刈り払い後



町内での鳥獣出没や相談件数の増加を受け、地域の安全を守るための対策を強化します。見通しを悪くしているやぶの刈り払いや、けものを人里に寄せ付ける原因となる不要果樹の伐採補助金を増額し、出没しにくい環境づくりを進めます。

議案の採決結果は5ページに掲載

質疑応答

第2回臨時会

デジタル学習機材

議員 電子黒板15台、書画カメラ15台、LEDビジョンの導入によって子どもたちへの学習効果にどのような期待をしているのか。

教育長 大画面化や即時共有機能の向上により、子どもたち同士が同じ画面を見て学び合いを深める「協働的な学び」への高い効果が期待されています。



デジタル学習機材のイメージ図

ナフサ不足

議員 中東の原油調達危機でナフサ不足などが心配されるが、B & Gのプール改修工事でシンナーを含めた材料の確保は大丈夫なのか。

教育課長 国際情勢の影響で塗料原材料の入荷が不安定な状況になっていますが、請負業者の方にはプールオープンまでに工事が完了するようにお願いしています。

第2回定例会

振興公社経営状況報告

議員 令和8年度の各施設の光熱水費が前年対比で増額の支出計画だが、ふるさと納税関係だけが15・4%減の要因は。

ふるさと応援推進室長 他の施設に関しては電気、ガス、灯油を使用しているが、この部門は電気だけを減額で計画しています。

鳥獣対策

議員 若あゆ温泉のクマ問題に対して対策は行っているのか。

ふるさと応援推進室長 温泉やセンターハウスに熊よけスプレーを配置し、コテージには熊よけ鈴を置いて温泉入浴時に携帯するようにしています。

B & G財団助成金

議員 B & G財団からの防災拠点整備事業助成金3450万円※の交付要件と活動条件はどのようなものか。

※総事業費3650万円の内200万円は町一般財源

町長 主な交付要件は概ね25人程度の消防団員、町職員による機械操作研修として受講が必要になります。また、活動条件は、基本的にはB & G海洋センターのある市町村で災害が発生した場合に相互支援することになっています。



若あゆ温泉での熊対策として配置している熊よけスプレーと熊よけ鈴

令和8年 第2回臨時会 議案の採決状況											
		○賛成 ×反対									
議案番号	議案名と主な内容	1 伊藤廣好	2 叶内昌樹	3 荒澤広光	4 伊藤欽一	5 小国浩文	6 奥山謙三	7 佐藤広幸	8 八畝太	9 石山和春	10 斎藤好彦
承認3号	令和8年度舟形町一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
議案39号	令和8年度舟形町B&G海洋センタープール大規模改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
議案40号	ロータリ除雪車の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
議案41号	デジタル学習機材の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊

令和8年 第2回定例会 議案の採決状況											
承認4号	令和7年度舟形町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
承認5号	令和7年度舟形町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算(第3号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
承認6号	令和7年度舟形町介護保険特別会計事業勘定補正予算(第4号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
承認7号	舟形町職員定数条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
承認8号	舟形町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
承認9号	舟形町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
報告1号	令和7年度舟形町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	＊
報告2号	令和7年度舟形町一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	＊
報告3号	令和7年度舟形町水道事業会計予算繰越計算書の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	＊
報告4号	令和7年度舟形町下水道事業会計予算繰越計算書の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	＊
報告5号	株式会社舟形町振興公社経営状況の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	＊
議案42号	令和8年度舟形町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
議案43号	令和8年度舟形町介護保険特別会計事業勘定補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
議案44号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
議案45号	舟形町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊
議案46号	令和8年度長尾橋橋梁補修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊

＊ 議長は採決に加わらない。＊報告は採決を行わない。

すべての議案の採決状況及び正式名称は、右側二次元コードからご覧いただけます。

◆令和8年第2回定例会 会期及び審議内容					
※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施					
日程	会議種別	午前(10:00～12:00)	午後(13:00～16:00)	傍聴者数	議会中継視聴者数
6月8日(月)	本会議・委員会	・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問2名 ・常任委員会(総務文教・産業振興)	2人	22人
6月9日(火)	本会議・委員会	・一般質問2名 ・議案審議(承認4号～)	・議案審議(～報告5号) ・常任委員会(議会広報)	1人	19人
6月10日(水)	本会議	・議案審議(議案42号～第46号) ・議員派遣の件		2人	13人



豪雪で倒木の被害を受けた受電電柱

議員 今年度から解体の補助額が増額されたが、4月以降の実績と、今後の予定は。

地域整備課長 交付決定は6件です。今後の予定は実績を含めた相談件数として住宅14件、小屋等16件を予定しています。

健康福祉課長 舟形クリニック内部の照明のLED化工事を予定しています。また、駐車場内の照明も追加で交換するための予算で、11月末完成を予定しています。

空き家対策

議員 工事請負費補正57万円の内容と工事完了の時期は。

議員 長尾橋橋梁補修工事は今回ですべて完了するの。

地域強靱化対策室長 令和6年度に1期工事として2径間、今回3径間の修繕工事ですべて完了です。

橋梁補修

総務課財政係長 令和7年度の大雪に伴い、町施設が破損し、その復旧費になります。
主な施設は若あゆ温泉のクラブハウス屋根、新堀地区の防災行政無線、小学校バス車庫壁面など6件となります。

議員 工事請負費1051万円の内容は。

公共施設災害復旧費

議員 農業水利施設かんがい排水事業(突発事故対応)で1314万5000円の補正予算を計上しているが、事故の概要と工事費の根拠は。

地域整備課長 大平揚水機場の点検時に、受電用の高圧電線に倒木があり受電電柱が折れ、電気設備が破損したための設備復旧工事です。また、工事費の根拠は揚水機場の電気設備を常時点検している業者からの見積金額です。

揚水機場突発事故

議員 売れる商品づくり支援事業の過去の実績と、今後の具体的な方針は。

農業振興課長 今年度から名称の変更と支援対象に漁業者等を加えるなど、一部拡充した事業です。これまでは新商品のパッケージ開発や食品加工機械の購入支援などを行っており、今後も同様の支援を展開していきます。

6次産業

舟形クリニック

大雪により破損した町有施設

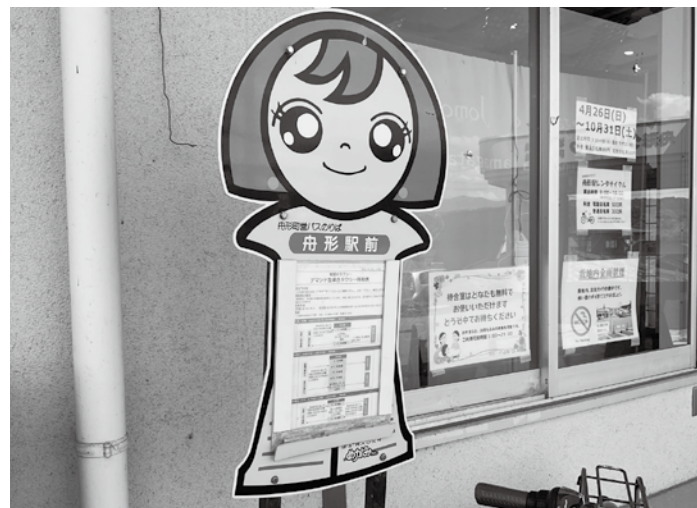
新堀地区の防災無線

スクールバス車庫



かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

学生の移動支援や 利便性の考えは 小中高生利用も想定した料金設定



停留所の案内が小さくて見えにくい

①学習塾など学校管理下外における児童・生徒の移動手段について、町はどのような認識を持っているか。
②デマンド型乗合タクシー等において、学生割引

の拡充を検討できないか。
③デマンド型乗合タクシーと通常のタクシーを誤認し、高額な料金がかかった事例が見受けられます。高齢者や保護者、子どもにも分かりやすいガイドラインを再整備すべきではないのか。また、電話予約時のオペレーターによる誤認防止策の現状と今後の改善策を伺います。

町長 4月施行の「舟形町子どもまんなか条例」は子どもの権利を尊重し町全体で成長を支える約束であり、誰もが幸せを実感できる町を創造するものである。
その上で、スクールバスの目的は「学校教育における安全な送迎」の堅持であり、塾など学校管理下外の私的な活動は目的の地や時間帯が多岐にわたるため、バスによる移動支援は考えていません。学生割引の拡充については、現在制度はないが、デマンド型乗合タクシーは通常のタクシーに比べ安価（町内片道300円、町外片道500円）で、小中高生の利用も想定した料金設定のため、現時点で学割の検討や通常タクシーへの助成を行う考えはありませんか。
両タクシーの誤認については昨年3件ほど報告があり、予約時の確認不足や利用者の思い込みが原因であるようで、今後の改善策としては、

デマンド型乗合タクシー

予約制

・時刻表（舟形駅発着時間）の1時間前までに予約が必要です。

乗り合わせ

・乗り合わせで運行しますので、お迎えの時間が変動します。

自宅送迎

・自宅までお迎えに行きます。帰りも自宅までお送りします。

定時運行

・時刻表以外の時間で利用する場合は、通常のタクシー料金がかかります。

アプリ

・電話による予約に加え、アプリによる予約も可能です。
・事前の利用登録が必要です。

予約時にタクシー会社でどちらの利用かの確認を徹底する。
また、ガイドラインの再整備に関しては、誤認の大きな原因である「利用1時間前までの予約」

や「定時運行」の仕組みについてより分かりやすく表記し、町広報誌等で再度周知を行うなどして誤認防止に取り組んでいます。

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねます。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや政策を提言する、議員の重要な活動です。（持ち時間は議員ひとりにつき40分）

かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

7ページ

★1 学生の移動支援や利便性の考えは



いとう ひろよし
伊藤 廣好 議員

8ページ

★1 防犯カメラ増設で町の安全強化
★2 協力隊の増員と起業・定住支援を



あらさわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

9ページ

★1 消防団現状と組織再編の必要性は
★2 災害復旧状況と災害への備えを



さとう ひろゆき
佐藤 広幸 議員

10ページ

★1 町内会への依頼業務を減らすべき



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

11ページ

★1 クマ・イノシシ住宅地出没対策は



いとう きんいち
伊藤 欽一 議員

12ページ

★1 交通安全対策は早急に



町政を問う

一般質問に6人が登壇

わたしの題字



舟形中学校 二年
小國 恵葉さん

【町へひと言】

町民の声日々の生活に活かされ、さらには町の発展へと繋がっていく町であってほしいです。
また、いつになっても住み続けたい、戻ってきたいと思える町であってほしいです。

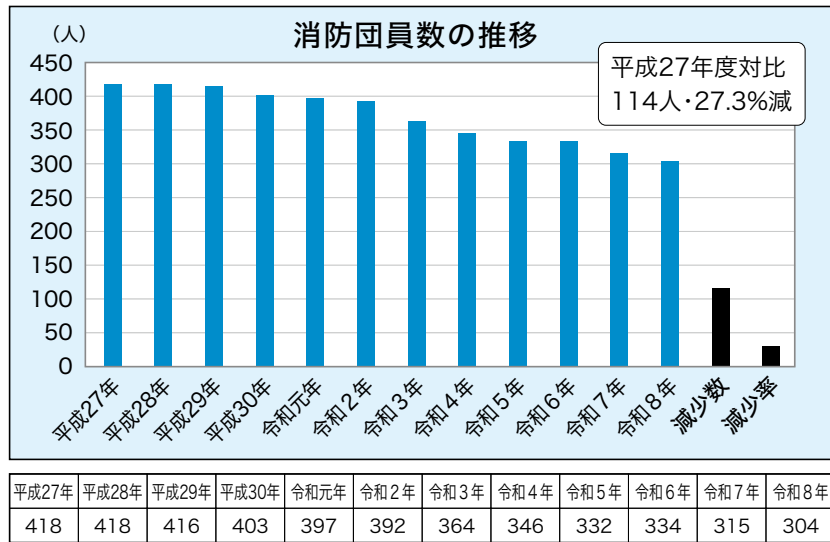
議会広報紙を活用した主権者教育の一環として、年4回発行される「議会だより」に、中学生からの題字を掲載しています。

生徒から『町政を問う』を書いて頂き学校側で選んだ4点を、広報委員の最終審査を経て選ばせていただきました。



あらさわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

消防団現状と 組織再編の必要性は 安心して活動できる環境を整備



質問 町では消防団組織の強化と団員の処遇改善を進めてきていると認識していますが、現在の団員数は304人で10年前と比較して14人減少しているが施設や車両の維持管理が困難になっている部は無いのか伺います。

町長 現時点において施設や車両の維持管理が困難であるという問題はありません。しかし地域によって団員数に差があり、今後の確保について不安を抱えている部もあることから、引き続き各部の現状を注視し支援の在り方を検討していきます。

質問 各部で消防ポンプ小屋や消火栓、防火水槽等の施設維持管理も行っていきますが、各町内会からの補助金で備品等を購入し管理を行っている部もあるようですが現状は。

町長 令和6年度から消防水利施設の整備に対する町内会負担を無くし、消防ホースの配布や消防ポンプの修繕、積載車の整備などの消防活動に必要な主要設備についても町予算で対応しています。一方各部ではホース格納箱の購入や消火栓の囲いの設置、必要物品の購入を行っていると思います。各部の実情を整理し、できる限り支援を行いたいと考えています。

質問 団員数減少に伴う団員への負担軽減を目的に、組織の再編を含め見直しを行う必要があると思いますが。

町長 今後は団員数の減少により、現行体制の維

**災害復旧状況と災害への備えを
土地の確保に向け調査を進める**

質問 令和6年豪雨災害では崖崩れ、法面の崩落により大量の土砂、残土が発生し建設業者では対応に苦慮しているのが現状です。

町独自の残土置き場の確保が必用ではないか伺います。

町長 頻発する自然災害に備え、残土置き場を確保する必要があると考え

令和6年災害（豪雨）
町単独の災害復旧工事の進捗状況

	農地	農業用施設
災害箇所数	82	145
発注済み数	72	125
完成数	72	125
今年度完成	10箇所	20箇所

令和8年度で復旧工事がすべて完了見込み

民家からある程度離れた土地や沢、水路等に悪影響を及ぼさない場所と考へており、土地の確保に向けて調査検討を進めたいと考えています。



いとう ひろよし
伊藤 廣好 議員

防犯カメラ増設で町の安全強化

他自治体の動向を注視し検討

質問 クマ出没による被害が相次いでおり、情報の「可視化と迅速化」や園児・児童生徒の安全確保の観点から、プライバシーに配慮し、AI付き防犯カメラを年次的に町内要所に設置の必要性をどう考えているのか伺います。

町長 「可視化と迅速化」は町民、とりわけ園児・児童・生徒の安全確保する観点から重要な課題と認識しています。

しかし、AI付き防犯カメラの導入には課題があります。第一に、導入に加え、維持費用などの費用面です。第二に技術面の課題があります。第三にプライバシーへの配慮が不可欠であります。当面は、他の実証実験を見守り、国・他自治体の動向を注視し、対応を検討していきます。

質問 クマ対策に一歩踏み込んで「安価で簡便」な設備も製品化の見通しもあり、通学路やクマ出没の頻回なルートに設置し、役場、学校へのシス

テムの構築が急務であり、製品の購入や実証実験も検討すべきと思うが、町の考えを伺います。

農業振興課長 長井市の取組事例は可搬式カメラで、メールを市のパソコンに送信、休日・夜間の即時対応には課題があります。また、クマ出没付近でドローンを使って巡回は効果的と聞いております。今いろんな事例を調べて検討しています。

**協力隊の増員と起業・定住支援を
募集は必要に応じて見直す**

質問 町の地域おこし協力隊の募集方針について伺います。



前協力隊員が経営する
「ぶっくかふえこほんこほん」(猿羽根山)

「若者定着支援、縄文の女神による町づくり」などに興味をもつて取り組む方を募集する考えはないか伺います。

まちづくり課長 空き家対策については移住交流コーディネーターの方で空き家の紹介もできているのではないかと考えています。



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

クマ・イノシシ 住宅地出没対策は やぶを刈り払う町内会等を支援



侵入防止のため、やぶの刈り払いを

質問 ①令和8年3月発行舟形町お知らせ版に「山形県野生鳥獣市街地等出没対策事業」の募集について掲載がありましたが、次の点について質問します。

○やぶの刈り払い（鳥獣緩衝帯の整備）について、具体的な活動内容と申込状況、補助内容など。

○不要果樹の伐採について、直近の伐採本数、申込状況、補助内容。

○「山形県野生鳥獣市街地等出没対策事業」本事業は県事業ですが、町としての支援について考えは無いのか。

②空き家等が越冬するための住み家になっているとの報道がありました。舟形町では空き家の解体は進んでいるが、未だに散見される状況にあります。解体を促進するための方策について質問します。

ー本当たり上限4万円、所有する木を自ら伐採する場合は燃料代などの実費補助になります。

○町独自の支援は県の予算配分額が不足している、不足分を町が負担するよう計画しています。

○空き家解体は、補助額の引き上げ、緩和により現在19件の申込・相談があります。

今年度からの支援の強化により、解体を促進し、さまざまな危険の防止に大きな期待を、発揮出来るものと考えています。

町長 ○「やぶの刈り払い（鳥獣緩衝帯の整備）」への支援「具体的な内容は、集落周辺にクマやイノシシなどが近づきやすくなるやぶについて、刈り払いを行う町内会などを支援するものです。

申込件数は7件で全額県負担、上限15万円です。

○「不要果樹の伐採支援」は団体又は個人を支援するもので、申込状況は45本です。



不要果樹は伐採しましょう

質問 やぶの刈り払いは、具体的な場所の選定は、

農業振興課長 住居から200メートル以内のやぶが対象になります。

事業の実施を要望する方と、町の航空写真を見ながら打ち合わせをした上で、要望をして頂いています。



町の政策が決められる庁舎



さとう ひろゆき
佐藤 広幸 議員

町内会への依頼業務を減らすべき

ひとつの問題提起にとらえたい

質問 町から町内会への依頼業務が多くなり各町内会から不満や疑問の声が上がってきています。

その中でも町内会費の中に組み込まれ自動的に徴収する事が多くなっている募金や会費の集金が

自分の意思が反映されない形になっていることも問題だと考えます。

それらを解決し負担を減らす方法として、各戸別に封筒を配布し自分の意志でお支払いして頂き、そのまま各種団体へ手渡すことで町内会がお金の集計をすることが無くなり負担の軽減につながるのではないかと。

また、その他にも人口減少や高齢化により各種団体の存続が難しくなっていると、町内会へ業務を委嘱するようなことはやめて、組織の改廃を進めていくべきと考えます。

町長 募金や集金については、町内会長会議において、舟形町町内会等関係事務委嘱規則に基づき、

町内会における集金方法については、各町内会の諸事情に合わせて決められており、各団体の役員が町内会にいて、その方たちや募金集金に対応する方たちの負担軽減を図るために考えられたものと思っています。

全国的な取組みでもあることから町全体による取組みが必要と判断しています。今後も町内会長を通じて、お願いをしていく考えです。

募金時の意思の反映については、各町内会において取組み方法が決められているという経過もあり、町としては募金集金への意思が反映されているものと理解しています。

現在、町内会長さん方からは苦情も来ており、ひとつの問題提起という形でとらえさせていただきます。

舟形町町内会等関係事務委嘱規則

第3条

- 1, 町内会と町の連携に関する事
- 2, 町の各種情報の町内会員への伝達および連絡に関する事
- 3, 町が実施する各種調査等業務への協力に関する事
- 4, その他町長が必要と認める事

この規則に基づいて委嘱されている

また、組織改廃と言っても何を改廃するのか、青少年育成町民会議を廃止するのか、或いは社会福祉協議会を廃止するのか交通安全母の会を廃止するのか、それを自分たちが会員や会費を集められないから各種団体を改廃するべきだとは行政から言えないのではないかと。

町全体としての総意を含め町内会の考え方を検討して参りたいと思います。

県町村議会広報研修会

7月14日、議会広報研修会が山形国際交流プラザで開催されました。

講師は議会広報サポーターの芳野政明氏で「議会だより」の評価目安・基準として、発行目的に沿った企画・編集などや、読みやすさ・わかりやすくするための編集技術を学びました。

各町村の議会報の優れた点や改善点を確認し、今後の編集活動に活かしていきます。



最上地域議員研修会

6月25日、真室川町で最上市町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。

研修では「東北農林専門職大学・その目指すものと開学後の状況」の題目で神山修学長の講演を受講しました。

その後、交流会が行われ議員同士の親睦が深められ、有意義な研修会となりました。



- 議会のつぎき**
- ▼4月
- 1日 転入教職員着任式
 - 4日 舟形ほほえみ保育園入園式
 - 8日 舟形小学校・舟形中学校入学式
 - 9日 議会広報常任委員会
 - 13日 議会報告会
 - 15日 議会広報常任委員会
 - 26日 舟形町・舟形町消防団春季消防演習
 - 30日 議会広報常任委員会
- ▼5月
- 8日 山形県町村議会議長会監事会（山形市）
 - 15日 第1回県及び市町村長・議長会議（山形市）
 - 18日 全員協議会
 - 19日 議会運営委員会
 - 22日 山形県町村議会議長会正副会長、理事、監事会（山形市）
 - 26日 議長・副議長全国研修会（東京都）
 - 29日 議会運営委員会
- ▼6月
- 1日 山形県町村議会議長会臨時総会（大江町）
 - 3日 全員協議会
 - 8日 第2回定例会
 - 10日 全員協議会
 - 11日 議会広報常任委員会
 - 23日 最上市町村議会議長会定期総会（新庄市）
 - 24日 最上地方町村議会議長会定期総会（新庄市）
 - 25日 議会広報常任委員会
 - 25日 最上市町村議会議長会議員研修会（真室川町）

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。



（議会より）
担い手の皆さんが効率的で安定した強い農業ができるように今後も働きかけていきます。

声

ほ場整備で作業効率向上

叶内 大夢さん（長者原）

我が家は、水稻をメインに30haの規模で営農しています。皆さんもご存じかと思いますが、近年は農家の高齢化に伴う農家の減少により農家一軒あたりの規模が大型化しており、いかに効率よく作業することが求められています。その方法として田んぼのほ場整備がありますが、舟形町では10年以上前から積極的に区画整理を進めていただいており、我が家を含めた多くの農家がその恩恵を受けています。これも町長、町議会をはじめとした町民の皆さんのご理解とご協力の賜物であります。

今後、農業の効率化を進めなければ、若手の農家も増えず地域産業も衰えてしまふと考えます。そのためには更なるほ場整備の推進をお願いします。

次回の定例会は9月上旬に開催される予定です。



←動画はこちらから



部分の立木を伐採することにより国道、県道からの視界を良好にし安全確保

質問 昨年9月8日に長沢地内の国道47号線と県道56号線の交差点で軽乗用車と乗用車が衝突し、70代の女性が死亡する事故が発生した。

事故後に、警察署、公安委員会、町の交通安全協会が現場の検証を実施したと思うが、検証結果について伺います。



伊藤 欽一 議員

交通安全対策は早急に

必要に応じ対応していく

また、事故防止対策について、町から意見または要望等は出したのか伺います。

町道や県道の横断歩道、停止ラインや文字が、除雪等で削られ薄くなり危険と思われる箇所が多くあるが、融雪後早急に復旧はできないのか。

下水道のマンホールが路面より高く、軽車両や二輪車、シニアカーの通行が危険な箇所があります。確認し事故の防止をすべきと思うが、考えを伺います。

緊急の現場点検を実施しました。

事故は、県道56号線を野方面から進行してきた軽乗用車が、一字停止のT字路交差点を右折する際、国道47号線を最上町方面から進行してきた普通乗用車と出会い頭に衝突した事故でした。

町からは交通事故の再発防止対策についての具体的な要望は行っていない。

国道は路面の穴やひび割れの補修と区画線の引き直し、県道は標識に覆い被さった支障木の伐採と止まれる表示の引き直しをしました。県警は当該箇所止まれ標識と道路標示を追加しています。

舟形町地域整備課地域強化対策室では、町内会



マンホールが路面より約7cm高く通行に支障

各地区要望会でいただいた情報に基づき現地を確認した上で、必要に応じ対応しています。なお、今年度は雪解けが早かったため、緊急対応分として4月に、「停止線」「止まれ」の文字2箇所の引き直しをしています。

マンホール周りの段差については、降雪前に舗装の修繕を36箇所実施していますが、今後は子供や高齢者の視点も考慮し、歩行者に支障がないような補修を実施して行きます。

第18回議会報告会

4月13日と14日に議会報告会を開催し、各会場でいただいた質問や意見、要望事項を検討し、回答書を作成しました。主な質問と回答は次のとおりです。

各会場での質問、意見の詳しい内容は右記二次元コードからご覧いただけます。



質問 議会運営するためには10人はいないといけないと考える。人口が減っているから5～6人になったら、会議も長くなってしまう（負担も増える）。優秀な方から議員になってもらうためには報酬を上げるだけではだめだと思うがその辺どう考えていますか。

回答 幅広い多様性のある議会にしていきたい。若い方、女性の方の議員を増やしていきたいと考えています。定数については、2名減としている町村もありますが、10名いないと議論に活発な意見が出にくく、また委員会の構成上も良くなく、いろんな意見が出にくくなるのが懸念されます。多様性のある議会にするためには報酬を少しでも上げざるを得ないかと考えました。なり手不足の解消が特別委員会の目的で、なり手不足の一助として報酬を見直していく必要があると考え、報酬額を2万円を上げるという結論にいたり、町に提言書を提出いたしました。（選挙が無投票は町にとって良くないことと考えています。）

質問 29年前というと、町職員と議員の給料が同額だった。職員は上がってきたが、議員が上がっていないのが不思議な感じがしている。議員定数10名は人口約500人に一人であり、妥当と考える。

回答 なり手不足だから定数を削減するという考えは、議会としては考えませんでした。理由は、定数を減らすと議員一人に係る負担が増えることにつながると考えたためです。人口に見合った定数だという意見もありましたが、委員会の構成等を考慮すると10名が最低限必要な数と結論を出しました。
人口は減っていますが、予算の規模が大きくなっています。議会の役割として、行政を監視する議会。その議会のチェック機能が低下することは、町民にとっては良くないことにつながります。



農村環境改善センター（富長地区）

質問 陸羽東線の状況について、教えてほしい。

回答 復旧する計画があり、工事は進められているようですが、工期などの情報については公表されておられません。また、臨時バスの乗車率が悪いため、時間帯によっては長沢を通らず亀割バイパスを通る便に変更を行ったと聞いております。



農村環境改善センター（堀内地区）

質問 空き家対策事業に小屋解体が対象と、補助金額が200万円上限となったとあるが、もう少し詳しく教えてほしい。

回答 補助率50%から80%（上限200万円）となったものです。

質問 本町においては、スクールバスが冬期間だけ利用できる。昨年、クマの出没があった際に、夏場もスクールバスでの登校をしていただけるように教育委員会に掛け合い、そのように対応をしていただきました。ただ、停留所がなく、中央公民館まで徒歩でいかなければならない。常時利用と町内会にスクールバスの停留所を設置してもらいたい。

回答 町の方に伝えていきます。（担当課コメント）
スクールバスの停留所設置につきましては、児童生徒の安全な待機場所とバスの安全な運行確保、さらには既存の停留所との距離などを総合的に判断して配置しております。この点を踏まえ、他地区との整合性を鑑みると、これ以上の新たな停留所の増設は想定していない状況でありますので、ご理解願います。

質問 鳥獣被害対策の予算が少なすぎるのではないかと。緊急銃猟をしないで対応するためにはもっと予算が必要と考える。

回答 追い払い花火の対応等、職員にかなりの負担がかかっており、通常業務にも影響が出ているのが現状です。また、ハンターはボランティアであり、責任を負わせることもおかしいと考えています。やっと少しずつ待遇が良くなってきたところです。報告会でのこの意見があったことを町にきちんと伝えます。組織の立ち上げも必要ではないかと考えています。

質問 議員報酬については、金額の問題ではなく、資料みてもわかる通り議員活動は大変だと思うが、町民のために引き続きがんばってもらいたい。

回答 力強い激励ありがとうございます。
ちなみに最上管内の報酬額は…。
真室川町と最上町は35,000円増額している。20,000円増額すれば、来年の選挙に手を挙げてくれる人も出てくるのかと考えています。女性議員については、舟形町と戸沢村にだけいない状況で、ぜひ女性からの立候補があればいいなと考えています。



生涯学習センター（長沢地区）

質問 小学生や中学生、高校生の時の（主権者）教育が重要と考える。

回答 役場には小学生や中学生が見学に来ないので、そのような機会があったらよいのではと考えていました。最近では12月議会を中学3年生が傍聴してくれるようになっていきます。今後も続けていきます。また、議会だよりの一般質問の記事の題字「町政を問う」に、中学生から書道で書いてもらった題字を採用し、顔写真とコメントを付して紹介する取組みを始めています。これも中学生のうちから議会だよりを通じて興味を持ってもらうための取組みの一つとして実施しています。

質問 堀内橋の通行について、県と町で制限の規制が違う。うやむやになっている。（除雪車）

回答 町に確認します。（担当課コメント）
県道ですので県の規制のとおりです。
緊急車両や除雪車（町）は特別に通行させていただいております。ご理解願います。

質問 本堀内へ行く県道のこと。4～50年前からそこは崩れることが多々あった。長年このような状態の場所をよく県道として活用しているものだと、工事現場の方も話していた。今後の計画はどうなっているのか。全面通行止めはしないでほしい。福寿野経由で迂回した場合、農作業だけでひと月10,000円くらいかった。

回答 地域の声を県から直接聴いてもらった方が効果があると思うので、そのような場を設けてもらえるよう要望していきます。

質問 東北農林専門職大学の学生を送迎しているが、そのバスの空いているときに活用できないか。

回答 ここで、できるできないの回答はできません。（担当課コメント）
学生送迎用バスについては、平日、朝夕晩と3回運行しておりますが、土日など学生の送迎がない場合は使用が可能です。使用をご希望の場合は事前にご相談ください。また、マイクロバスを活用して堀内地区地域運営組織で、R7.6～新庄市内へ買い物バスツアーを実施しており、3月まで5回実施してきました。利用している方も固定化してきている状況です。

質問 鳥獣対策、山に行くのが怖く、心配なのでがんばってもらいたい。

回答 町の方でもいろいろな対策を講じてはいますが即効性がないというのが現実があります。被害防止のために、皆さんからの情報提供をお願いします。



2班に分かれての議会報告会

貴重な意見ありがとうございます。

議会だよりモニターの声

今回は議会だより206号（4月24日発行）に寄せられた意見や感想を原文のまま掲載しています。いただいたご意見を十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。



◆表紙、議長年頭によせてについて（1～2ページ）

- ・卒業する生徒の表情に喜びと希望を感じとれ、心が温まります。
- ・自分の子供の卒業式を思い出し懐かしく思いました。32名の卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。
- ・卒業生がメインなので、表紙に出すなら全員写るとベスト。
- ・中学の卒業式の風景が目につかんでくるような写真です。
- ・晴れの門出。今後も多方面で活躍し、有意義な高校生活を送っていただきたいと思います。
- ・こどもの幸福のみならず全年代であえる町になればいいなと思いました。

◆臨時会・定例会概要、特別委員会概要、議案質疑について（2～7ページ）

- ・中学校の給食まで無償化拡充ということですが、また原価高騰の中食材にもこだわりおいしい給食を提供いただき助かります。
- ・役場のトイレの完全洋式化は必須と思います。高齢化が進む中、早期の実施を望みます。
- ・町の子供達の為の質疑応答が多いこと、子供達の事を考えていただいているのだなと感じました。

Q1. 中学校の移転の話は、だいぶ前から聞いているが、話は進んでいますか、検討！？

- ・「こどもまんなか条例」が制定され、今以上に「子供は健やかに育つ町」になる事を願っています。また、学校給食においても、保育園・小中学校共に、完全給食・無償化になり大変助かっています。昨年、学校給食の試食もさせて頂きましたが、大変美味しく食べさせていただきました。子供たちも「今日のメニュー作って！」と好きなメニューも多く喜んでいます。インスタも楽しみにしています。フォロアーがもっと増えると良いなと思います。
- ・町の事業が色々取り組まれていて良いことだと感じた。

◆採決状況・反対討論について（8、9ページ）

- ・企業立地等補助金については、議員の意見のように直していくのが合理的かと思います。
- ・反対討論の中で農大の総合プロジェクト事業への反対意見がありましたが、農大生が町に住んでもらえるのはとても良いことだと思います。ですが、町に住んでいる同世代の子供達への支援ももう少し考えていただけるといいのではないかと思います。
- ・空き家もたびたび見かけますが、雪などで倒壊心配でした。早めの対策を。
- ・気が付くと、今でもあった家が解体され、なんだか寂しい気持ちになります。若者や子育て世代が定住してくれると良いと思います。
- ・読んでみて分かりづらいところがあった。

モニターさんのご意見にお答えします

Q1. 中学校の移転の話は、だいぶ前から聞いているが、話は進んでいますか、検討！？

- A1. 令和7年度に「舟形中学校移転新築検討委員会」を設置し、慎重に検討を重ねている状況です。
- 舟形中学校の移転新築計画については、老朽化した「単なる施設」の更新に留まるものではなく、舟形町の未来を担う子どもたちの学びと成長を支える「学びの拠点」として「未来の学校」を創造するプロジェクトであり、『学校づくりはまちづくり』という理念に基づき、町の未来そのものに対する重要

◆一般質問について（10～15ページ）

- ・周りを見ても管理不全な空き家が増えているように感じます。町の補助金の増額は非常に助かる方もいると思います。また将来の自宅の状況を考え早くから検討が必要だなと実感しました。
- ・今年もクマの出没が多く報じられています。町民の安全を守る万全の対策をお願いします。
- ・空き家の実態の対応策ですが、空き家のままにしておくで野生動物の棲み家になる恐れ、倒壊する恐れなどから、できるだけ早い解体が望ましいと思います。なので、補助金が増額してもらえるのは大変ありがたいと思いました。
- ・今年は雪が多く、高齢者宅の住宅見守り（除雪）おつかれ様でした。引き続きよろしくお願いします。
- ・クマなどの害獣の目撃情報、今年度に入り、昨秋に比べてまだ少ないですが、近くでは足跡を見つけた等の声も聞かれます。暗くなってからも下校や帰宅時に、街灯がなかったり破損していたりと、不安な思いで通らなければならない場所もあると思うので、早急に対策をして欲しいと思いました。
- ・1ページずっと見ていくと町の雰囲気が良く分かり写真がつくのは良いと思った。

◆議会活動について（18、19ページ）

- ・舟形小学校若あゆ太陽光発電所の状況を子ども達の省エネ学習に役立ててほしい。
- ・本堀地区の通行止めについて、橋の架け替えが未だ先となる中、災害不安解消、利便のため早期の解消を願っております。
- ・様々な委員に任命された皆さん、引き受けてくださりありがたく思います。長い任期大変だとは思いますが、よろしくお願いします。
- ・議会の動きが、わかって良いですね。
- ・それぞれの議会が詳しくのってるらしい。

◆えがったなあ、町民の声、編集後記について（20ページ）

- ・給食無償化もそうですが、ますます子育てしやすい町になればいいなと思います。
- ・自然と人の中で、子供も親も舟形町の良さを感じながら、育ってくれたらいいなあと思います。
- ・えがったなあはいつ見ても癒されます。パパとママの愛情をたくさんもらってスクスク育てください。
- ・いつも笑顔になれるですね。子供が増えるとうれしいです。
- ・一目見て、かわいくて、舟形町で大きく活やくしてほしい。

◆議会・町に対する意見等、その他

- ・堀内の改善センターの玄関タイルが剥がれて、雨の日には滑り易くなっています。改修して下さい。
- ・今までは目を通す程度でしたが、モニターに任命されて初めて熟読しました。皆さんが町民の為に奮闘してくださっているのだなあと感じました。1年間よろしくお願いします。
- ・特になし。今のままの現状で。
- ・「こどもまんなか条例」が制定されたので、小学校入学時のランドセル（ランバック）等、町から支給して欲しいです。
- ・いつも思う。意見ですが重いイメージがあり、分かりやすいもの、子どものことを多く取り入れて欲しい。

な投資であることを委員会では捉えております。

また、検討にあたり、舟形町の教育目標である「地域に育ち、地域を育てる舟形の教育」という基本理念、そしてアドバイザーから提言された「50年後に新しい校舎がどう使われているか」という視点を、検討の根幹に据えた、当町の未来への夢と希望を託した未来創造計画として、検討を進めているところです。

なお、審議した状況報告については、舟形町ホームページでも掲載しております。



舟形町ホームページ
(中学校移転実行委員会
状況報告)

シリーズ

家族が増えて

えがったな



♥名前の由来は何ですか？

つねに心がおおらかで、周りにいる人達に、ぬくもりや幸せを与えられる優しい人になってほしいという願いを込めて「結暖」と名付けました。

♥舟形町での育児はどうですか？

出産時に給付金をいただいたり、産後ケア事業が充実していたりと恵まれた環境の中で子育てをすることができています。保育料の完全無償化や、様々な舟形町独自の育児制度が整っていることも、とてもありがたいなと感じています。

♥舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

子育て支援センターが近くにあり、毎日のように利用させていただいています。子どもを遊ばせるだけではなく、職員の方々と気軽に子育てについて話ができるのも嬉しいです。自然豊かな舟形町で季節を感じながら、子どもと一緒にのびのびと外遊びをするのも楽しいです。

【お願い】「えがったな」に出てみませんか。

舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったな」に出てみたい方を募集します。

(連絡先) 舟形町議会事務局 ☎32-0030



今回は、舟形第3の

石川 哲也さん・郁実さんの

お子さんの暖陽くん(4才4ヵ月)と
結暖ちゃん(1才2ヵ月)です。

皆さんよろしくお祈りします。

議会をインターネットで 中継・配信しています

- 定例会および臨時会の開会中は生中継しています。
- 会議後1～2週間程度で録画配信をしています。過去の配信についてもご覧いただけます。

【視聴方法】

- ①パソコンまたはスマートフォンの検索サイト(yahoo、googleなど)で「舟形町議会 議会中継」と入力し、検索。
- ②Webページが表示されます。「舟形町議会 議会中継・会議名一覧」をクリック。
- ③見たい会議名をクリックしてください。もしくは、右記二次元コードからアクセスしてご覧いただけます。



表紙のつづき

7月1日、小国川の鮎釣り解禁日です。たくさんの方々が一年ぶりに鮎釣りの雰囲気を感じていました。

例年、解禁日の天候は雨模様が多かったようですが、今年は天気に恵まれ順調にスタートしました。

釣り場によっては、50匹ほど釣りあげた方もいれば「解禁日なので川に入り釣りの感触を味わいたい」と語る方もいました。これからが楽しみな小国川の鮎釣りです。

(伊藤 欽一 記)

編集後記

6月25日に、岩手県沖を震源とする地震でマグニチュード7.2、最大震度6強の地震が発生し、青森県や岩手県では、各地で大きな被害がありました。

また、梅雨に入り関東・近畿・九州地方において、ダブル台風や大雨の影響により甚大な被害が発生しております。亡くなられた方に心よりお悔やみ申し上げますとともに被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

舟形町においても、令和6年の豪雨災害からの完全な復旧がまだ終わっていない状況です。どうかこれ以上、大きな災害が起こらず、穏やかな日々が続くことを心より願っております。

(小国 浩文 記)

発行責任者

議長 斎藤 好彦
議会広報常任委員会

委員長 叶内 昌樹
副委員長 荒澤 広光
委員 小国 浩文
委員 伊藤 欽一
委員 伊藤 廣好